

科目番号	54025	分類	専門科目 公衆衛生看護学実習	履修者	高度実践公衆衛生看護コース	学年
科目名	公衆衛生看護学実習Ⅱ (Practical Training in Public Health NursingⅡ)					1
						配当シスター
						後期
担当者	○永井 智子 他 1 名	区分	必修	単位	1	時間数 45
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連	
【目 的】 職場における産業保健活動の実際と産業保健活動の仕組みや産業看護職の役割について実践的に学ぶ。労働者・家族の特性を理解し、健康課題の把握と援助の方法、必要な連携・協働・ネットワークづくりについて理解する。 【実習目標】 1) 産業保健活動を支える安全衛生管理体制の実際を理解できる。 2) 就労者の健康課題を労働と職場環境の特性と関連付けて実際に理解できる。 3) 産業における看護活動の実際と産業看護職の役割を体験的に理解できる。 4) 産業保健と地域保健の活動連携の必要性和その方法について理解することができる。					○	1.多様な課題に対応する高度な実践力
					○	2.地域住民の自立を支える統合的支援能力
					○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力
					○	4.政策や保健事業を開発する能力
					○	5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力
					○	6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力
実習計画						
1) 事業所での産業保健チームの位置付け、活動体制、健康管理に関わる職場内外の関係者や組織、機関の役割を産業医、産業保健師、部門担当者より説明を受ける。 2) 事業所の経営戦略をふまえた健康課題に対する活動計画を評価方法を含めて説明を受ける。 3) 事業所において実施されている健康管理に関わる活動を見学し、その法的根拠や特徴について説明を受ける。 4) 産業医、または産業保健師と一緒に職場環境のアセスメントを実施し、改善が必要な点についてカンファレンス等を通して討議し、改善に向けた計画を立案する。						
事前・事後学習	事前学習：実習先について十分な情報収集を行い実習に臨むこと。 事後学習：自身の実習記録や指導者よりカンファレンス等で受けた指導について復習すること。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。					
評価の方法	実習への参加および目標の達成状況（80%）、レポート課題（20%）から総合的に評価する。					
参考図書・資料等	適宜紹介する。					
履修要件	1 年次前期に開講されている科目の全ての単位を修得していること。					
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。					